

一問一答
情緒障害固定学級の設置を要望する声等に対し、リソースルームが有効であるという意見があるが市の見解は

不登校対応の施策を総合的に検討していることから設置の計画はない

竹内 祐子 議員(共産) 特別支援教室における自立活動の

時数について、都発達障害教育推進計画では、児童一人当たり週1単位時間から8単位時間までと記載があるが、市内の保護者に対しては、週3単位時間の配分から週2単位時間に変更する通知が届いていると聞くが、その理由は、

一括質問
女性管理職の比率を高める取組について市の考えは

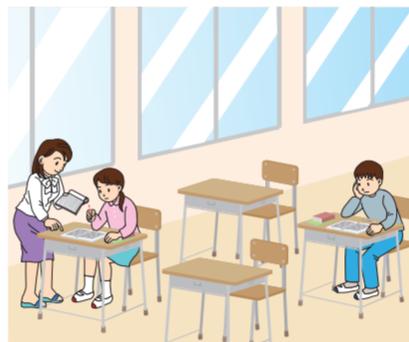
より生き生きと働くことができる職場づくりに向けた意義の醸成にも努めている

遠田 宗雄 議員(公明) 持続可能な開発目標(SDGs)では、ジェンダー平等の実現などを目標に掲げているが、市の差別問題への取組とSDGsの実践の考えは、

市長 取組については、平成31年4月から多摩地域で初となるパートナーシップ宣誓制度を開始するなど、人権意識の醸成に努めている。

政策総務部長 SDGsについては、研修等を実施しており、正しい理解などを深めることが重要と認識している。

の設定を行う場合もある。議員 情緒障害固定学級の設置を要望する声等に対し、不登校生徒が登校し、学習するための教室であるリソースルームが有効であるという意見があるが、市の見解は、



府中市の生活困窮者支援強化と生活保護制度の幅広い周知を求め

議員 ジェンダーギャップ指数2020によると、ジェンダー平等の項目について、日本は153か国中121位で、特に政治の分野では女性の数が少なくなっている。本市でも管理職の男女比率は約9対1と男性職員が高いと聞くが、女性管理職の比率を高める取組について、市の考えは、

政策総務部長 管理職を対象とした女性活躍推進研修等を実施し、より生き生きと働くことができる職場づくりへの意義の醸成にも努めている。

常任委員会の審査報告から

総務委員会

第2号議案
府中市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例

この議案は、文化センターの今後の在り方に関して、広く市民や関係者の意見を聞くため、市文化センターあり方検討協議会等を設置するほか、現在設置している附属機関の所掌事項の見直し等に伴い、所要の改正を行うもの

質疑に対して、「文化センターに将来的に必要とされる機能等について検討することを目的として設置する」等の答弁があった。

委員から、「協働の拠点として防災等に関する具体的な議論もしていた」などことを要望し、本議案に賛成する「等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教委員会

第4号議案
府中市立体育館条例の一部を改正する条例

この議案は、朝日体育館を令和4年3月31日をもって廃止することに伴い、所要の改正を行うもの

質疑に対して、「朝日体育館の規模や老朽化の状況等を踏まえて廃止の方針を定め、これまで利用者等へ説明も重ねてきた上で、廃止を判断した」等の答弁があった。

委員から、「朝日体育館の存続を希望する声もあるため、廃止の見直しをお願いし、本案に反対する」「跡地の活用は、地域住民の意見等を聞きながら検討すること

を要望し、本案に賛成する「等の意見があった。審査の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生委員会

第5号議案
府中市手話の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例

この議案は、手話の普及及び障がい者の意思疎通の促進についての基本理念を定め、全ての市民が尊重し合いながら安心して暮らすことができる地域社会を実現するため、新たに条例を制定するもの

質疑に対して、「手話が2種類あることを定義したのは、他市にない特徴で、この認識でサービ

ス提供していく」等の答弁があった。委員から、「手話は言語と同じように、保障されるものであり、この条例をより生かせるように施策を展開していくことを願い、本

案に賛成する」等の意見があった。審査の結果、本案については、

建設環境委員会

第7号議案
府中市環境基本条例の一部を改正する条例

この議案は、環境に関する様々な課題を一体的に捉え、より実効性のある次期市環境基本計画を策定するため、策定等についての調査や審議する場である市環境審議会

の組織及び運営方法を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの

質疑に対して、「次期市環境基本計画を策定するに当たり、特に生物多様性については、今まで同審議会で議論していなかったが、専門性のある委員を増員し、今後

は計画の素案策定まで行うため、委員の定数を15名から20名に変更する」等の答弁があった。審査の結果、本案については、

特別委員会の中継報告から

基地等跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況について、都から調布飛行場の自家用機分散移転に係る大島空港の格納庫整備工事が、緊急事態宣言等の影響を受け、工期が1か月ほど延伸する見込みとの報告があった。

府中基地跡地留保地の状況について、都の多摩イノベーション創出まちづくり検討支援モデル事業においては、先行事例を参考にするなど、当該地にふさわしい手法の検討を引き続き進めていく。

また、関東医療少年院について、当該地の処分に向け、今後は調査等が行われるが、処分の時期等は未定であるなどの報告があり、これを了承した。

市庁舎建設特別委員会

市庁舎建設用敷地の状況について、これまで埋蔵文化財発掘調査を行っていた西庁舎玄関前の南側部分は、令和3年2月上旬から車寄せ及び駐車場としての利用を再開している。

施工者の選定結果について、市庁舎建設の入札では、評価値と入札金額から算出する総合評価値が一番高い入札参加者を落札者としているが、大成・三浦建設を落札者として選定する旨の答申があった。これを了承した。

学校施設老朽化対策特別委員会

早期改築着手校である第八小学校及び第一中学校の改築に伴う実施設計の概要において、2校とも校舎棟と体育館棟の配置などが示されている。

また、次期実施校改築事業の設計者の選定結果について、公募型プロポーザル方式により、教育施設研究所・松田平田設計設計共同企業体に決定した。現在、第三小学校及び第六小学校の設計業務に着手している。今後、2校の配置計画等については、設計者からの提案を基に議会や学校関係者などの意見を聞き、基本計画段階で決定するなどの報告があり、これを了承した。

公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会

令和2年12月24日に開催された委員会については、議会事務局から2年12月4日の公判結果の報告を受けた後、本委員会の今後の進め方等に対して議員間討議を行った。その後、次回の委員会、倫理条例についての提案を持ち寄ること等と併せて、再発防止対策に係る課題についての進捗状況の報告を市長部局に求めることとした。

3年1月26日に開催された委員会については、市長部局における官製談合再発防止対策に係る報告を受け、質疑を行った後、会派に属さない議員も含め、各会派から倫理条例のイメージ案

についての提案や意見を出し合い、倫理条例や議会基本条例等に関する議員間討議を行った。その後、次回の委員会、今回各会派から出された倫理条例のイメージ案などについて整理した資料を基に論議を進めることとした。

3年2月26日に開催された委員会については、前回の委員会、各会派から提案のあった議会基本条例の検証を含めた倫理条例のイメージを基に、再発防止対策に関する議員間討議を行った。その後、次回の委員会では、本委員会の方向性について、出された意見を踏まえ、各会派の考えを踏まえて、決めることとするなどの報告があり、これを了承するとともに、議会閉会中における継続審査とした。